



# 学校通信

令和5年度 第4号  
令和5年 7月 3日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美

## 家族時計の家族の時間

校長 岡部 良美

土曜日の朝に、家のリフォーム番組を何気なく視聴する時間がありました。快適な居住空間を、匠の知恵と努力によって改造がすすむ番組です。ユーザーの年代に対応した家の造りや部屋の模様替えが、実に見事に実現されていきます。大人の居住空間と子供の生活空間を、どのようにコラボレーションしていったらよいのでしょうか。そんなことをふと感じました。

受験勉強や読書、物思いに耽る場合は、静けさの空間が必要となってきますが、小学校の低中学年では、食卓や居間のテーブルで勉強することは、効果的であると言われています。最近ではキッチンとテーブルが対面式である造りもあり、食事の準備をしながら子供を観察できるメリットがありますし、子供もお家の人が見守ってくれているという安心感もあります。また、子供が分からない時にお家の人に容易に聞けたり、子供が躓いている時に容易に話し掛けたりできるメリットもあります。こういう時間と空間が子供には欠かせないものです。

一つの家族には、家族の時計があり家族の時間があるものです。どの家庭においても、その時間を共有しながら家族は生きているのです。世の中の多くの家庭では、家族が朝起きて、みんなでご飯を食べて、それぞれがそれぞれの分野や世界で活躍し、そして、家族が集結する一日を過ごしておられることでしょう。そんな一日を過ごす家族の時計の中で、家族の時間をいかにもてるかが、子供の安定には必要不可欠なのです。

日本中の家庭で、今日も家族時計が刻々と動いています。その家族時計の中で、家族の接点となる時間、つまり家族の時間を大切にしていきたいと思います。将来、子供が大きくなった時の故郷の一つがこうした家族時計の家族の時間であり、健全な子供が育つ家庭の原点になっていくような気がしてなりません。今日も家族の時間がやってきます。その時間を楽しみにしたいものです。

開三小にも、開三小時計の開三小の時間があります。朝のあいさつと笑顔から始まり、子供同士、子供と教師の関わりが生まれます。学習時間には、子供たちが一時間の取組目標や到達目標となるルーブリックを決め、自分で考えたり友達と練り上げたりして、学びを深めていきます。休み時間には、同学年や異学年の交流が生まれます。高学年の委員会活動が学校生活を過ごしやすくします。『よいところみつけ名人』の集まる環境の中で、子供たちは主体的に、安心して成長を続けています。

